



愛東だより

教育目標：豊かな心をもち、実践しようと努力する子
かしこい子【知】 やさしい子【徳】 げんきな子【体】

令和6年度
旭川市立愛宕東小学校
学校通信 第8号

令和6年11月29日（金）
発行

夢を語ることの大切さ、夢を実現するために行動し続けることの大切さ

校長 澤 田 匡 史

「あなたの夢は何ですか？」という問いに、即答できる人はどれだけいるのでしょうか。「夢や目標」を明確にもっている人であっても、それを率先して周りに語る人は多くはないと思います。叶えたい夢を心に秘め、実現するまで期限を決めずに追いかけている人が多いのではないのでしょうか。期限を決めずに、「こんな事をしたい」「こんな人になりたい」と考えると実現が遠のくことが考えられます。期限を決めることで「夢や目標」の実現が近づくと考えている人が多くいるようです。私もその一人です。

「夢や目標を語ることの大切さ」「夢や目標を実現するために何をすべきか」について、いつの日か、子どもたちに伝えたいと思っています。

夢や目標を誰かに話したり、誰かと語り合ったりすることで、決意を新たにしたり、熱意を高めたりすることができます。

誰かが成功したからといって、同じ方法で成功するとは限りません。

誰かが失敗したからといって、同じ方法で失敗するとも限りません。

無限の可能性を秘めた子どもたちに、「夢は何？」と問う時の「夢」と、大人にとっての「夢」は、少し違った意味を含んでいるかもしれません。

幼い子どもに「将来の夢は何？」と尋ねた場合、達成できそうにない夢を語ることが多くあります。子どもが成長し、少しずつ社会性が身に付き始めると夢が現実的になってきます。さらに大人になると生活感にあふれた夢を語る人が多くなります。中には、壮大な夢を語る大人もいます。私は憧れの眼差しで話に聞き入ります。

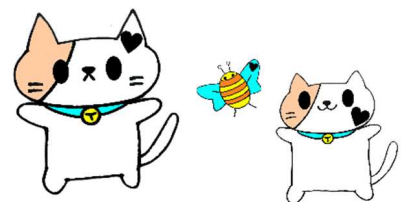
社会性を帯びること自体が問題ではないはずです。ただ年齢を重ねるうちに、実現することの難しさを学び過ぎて、簡単に夢を語ることができなくなってきたのかもしれません。子どもが目を輝かせて夢を語るとき、否定的なコメントが出そうになる自分がいるとすれば「人生を悲観的に捉える傾向が生まれている」と自覚する必要があるかもしれません。私も、夢を語ることができる自分がいるか、探してみようと思っています。

夢を叶えるために

「夢を言葉にする。人に語る。」

「夢を叶えた自分をリアルにイメージする。」

「夢の実現に向かって行動し続ける。」



夢を実現するための第一歩は、簡単な夢から語ることだと思います。その際、大人は、「実現できる、できない」という尺度ではなく、「どうすれば夢を叶えることができるのか」を子どもと一緒に考えるべきだと思います。それが大人の役割だと思います。

そして、子どもたちが夢を言語化することで、自分の想いを改めて整理し、客観視できるようになり、想いに共感・支援してくれる人が自ずと集まってくるはずです。

最終的には、夢を実現できる人とできない人との違いは「実現するために行動し続けられるか」という部分が大きいと思います。

子どもたちに「学校は皆さんの夢や目標を叶える場所です」と話したことがあります。愛宕東小学校は、その夢や目標を叶えるために全力を尽くします。今後も引き続き保護者の皆様はもちろん、地域の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

算数少人数指導について

本校では、3～6年生の算数の時間に「少人数指導」を導入しています。「少人数指導」とは、各教科等の授業において、例えば、1つの学級を2つのグループに分けたり、2つの学級を3～4つのグループに分けたりして少人数で授業を行う授業形態・方法です。

今年度、本校では、担任以外に、2名の教諭が、単元の学習内容をじっくりと理解したい子どもを中心に、少人数による指導や個別指導を行うことで「分かるまで・できるまで」優しく丁寧な指導を心掛けています。

参加した子どもからは、「分かるまで優しく教えてくれた（3年生）」、「かけ算やわり算など前の学年の学習も復習できた（4年生）」「苦手な算数もテストの点数が上がってきた（5年生）」「中学校に向けて自分のレベルに合った学習ができた（6年生）」などの声が聞こえており、子どもたちにとって、基礎的・基本的な学習の定着や、学習意欲の喚起につながっています。今後も、個に応じたきめ細かな指導を進めていきます。

外国語・外国語専科指導について

本校では、3・4年生の外国語活動（週1回）と5・6年生の外国語（週2回）の時間に「外国語専科指導」を導入しています。「外国語専科指導」とは、担任に代わって、中学校や高等学校教諭の英語教員免許状を持った教員等がより質の高い外国語（英語）教育を行い、中学校への円滑な接続を目指すものです。

また、外国語活動では、年間35時間のうち、年間9時間程度、旭川市外国語サポーターの先生が来校し、2人体制で授業を行っています。外国語では、年間70時間のうち、年間10時間程度、外国語指導助手（ALT）の先生が来校し、本物の英語に触れ、正しい発音や外国の文化などについて学習しています。

子どもからは、「英語で自分の名前を書くことや歌・挨拶などが英語でできるようになった（3年生）」、「歌やゲームなどを通して友達と楽しくコミュニケーションがとれた（4年生）」「英語を話したり書いたりするだけではなく外国の文化についても学べた（5年生）」「中学校に向けて自信がついたので、今度英検にも挑戦してみたい（6年生）」などの声が聞こえており、子どもたちにとって、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動などの楽しさが実感できていることが分かります。今後も、中学校への円滑な接続や外国語（英語）教育の質の向上につなげていきます。



今後の学校生活について

大きな行事「学習発表会」が終わり、落ち着いた学校生活を送る中で学習の充実を図る時期です。

11月6日の全校朝会で、今月の生活目標と「東っ子の当たり前10か条」から、「廊下を正しく歩こう」、「東っ子の学習7か条」から、「発表している人に体を向けて、最後まで静かに聞こう」の2点を特に頑張るよう話しました。

廊下歩行は、6年生が大変素晴らしいお手本となり、その姿を見て他の学年の廊下歩行もよくなっています。話の聞き方は、どの学級でも4月からの積み重ねを再確認し、集中して話を聞き、学習に取り組む姿が見られます。

12月第1週は参観日です。お子さんの学ぶ姿の中でも特に「話を聞く姿」にご注目ください。

12月の主な行事予定

- 2日（月）：街頭指導
- 3日（火）：参観日（1・6年）、PTA学年行事（6年）
- 4日（水）：参観日（2・4年）、PTA学年行事（4年）
- 5日（木）：参観日（3・5年）、PTA学年行事（5年）
- 6日（金）：後期委員会③
- 11日（水）：東っ子タイム
- 16日（月）：諸費引落日⑧
- 17日（火）：スクールカウンセラー来校日
- 25日（水）：終業式（給食なし）
- 26日（木）：冬季休業（1月14日まで）
- 29日（日）：年末の休日（学校閉庁日）
- 30日（月）：年末の休日（学校閉庁日）
- 31日（火）：年末の休日（学校閉庁日）

冬季休業は、

12月26日（木）～1月14日（火）
の20日間です。